



国際海上コンテナターミナル整備事業 (神戸港、大阪港北港南地区)

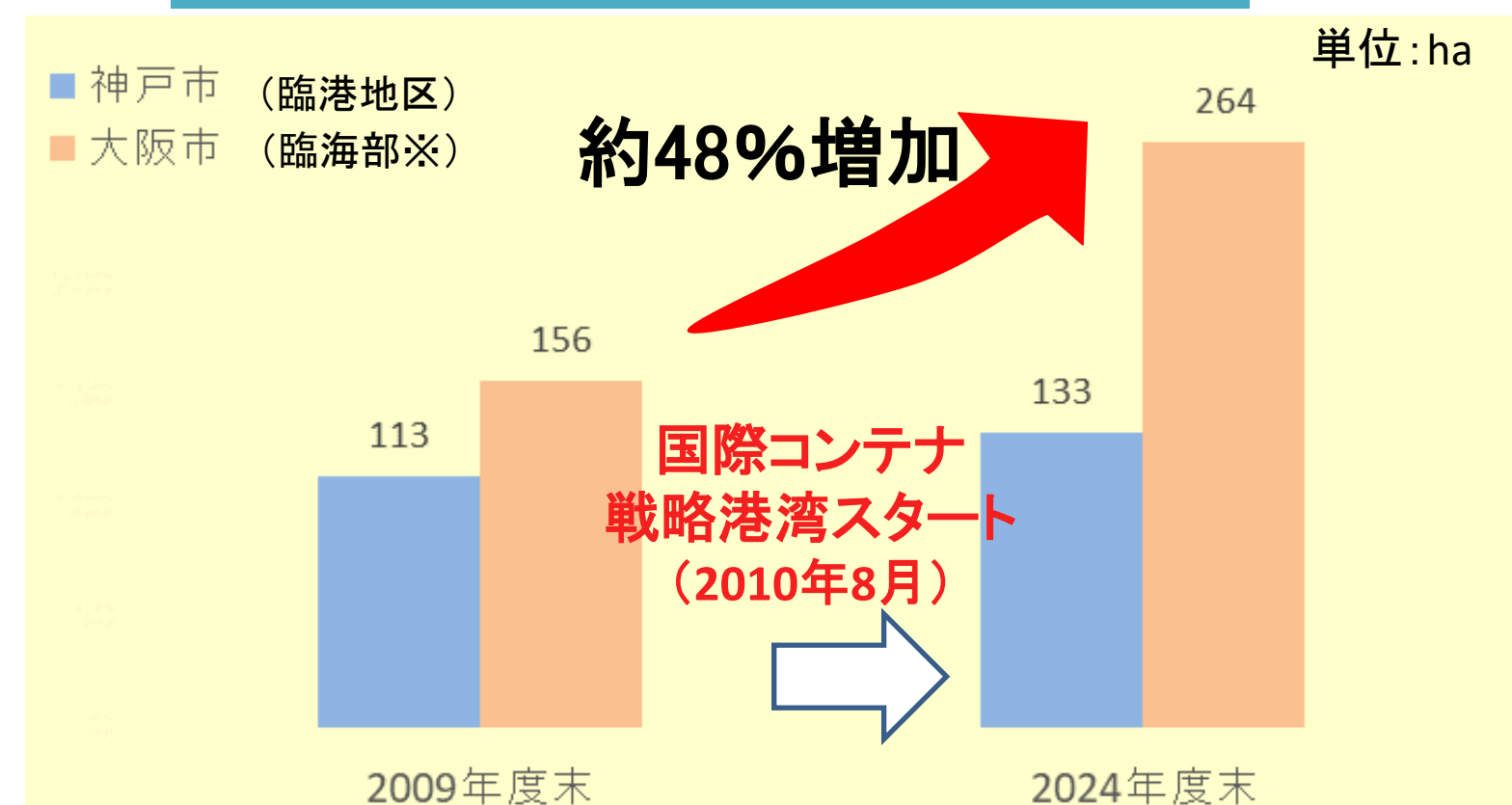
グローバル経済で勝てる 物流ネットワークへ強化

コンテナターミナルの拡張により海上物流が効率化
臨海部において大型物流施設の集積が進展

- ✓ 経済のグローバル化に伴いコンテナ船の大型化が進展
- ✓ 大型船に対応した耐震強化岸壁の整備により、地震等の災害時における事業継続の優位性を評価した企業の立地が促進
- ✓ 国際海上コンテナターミナルの発展を見据え、阪神港周辺の臨海部に 民間投資による物流施設の集積が進展し、一大物流拠点を形成

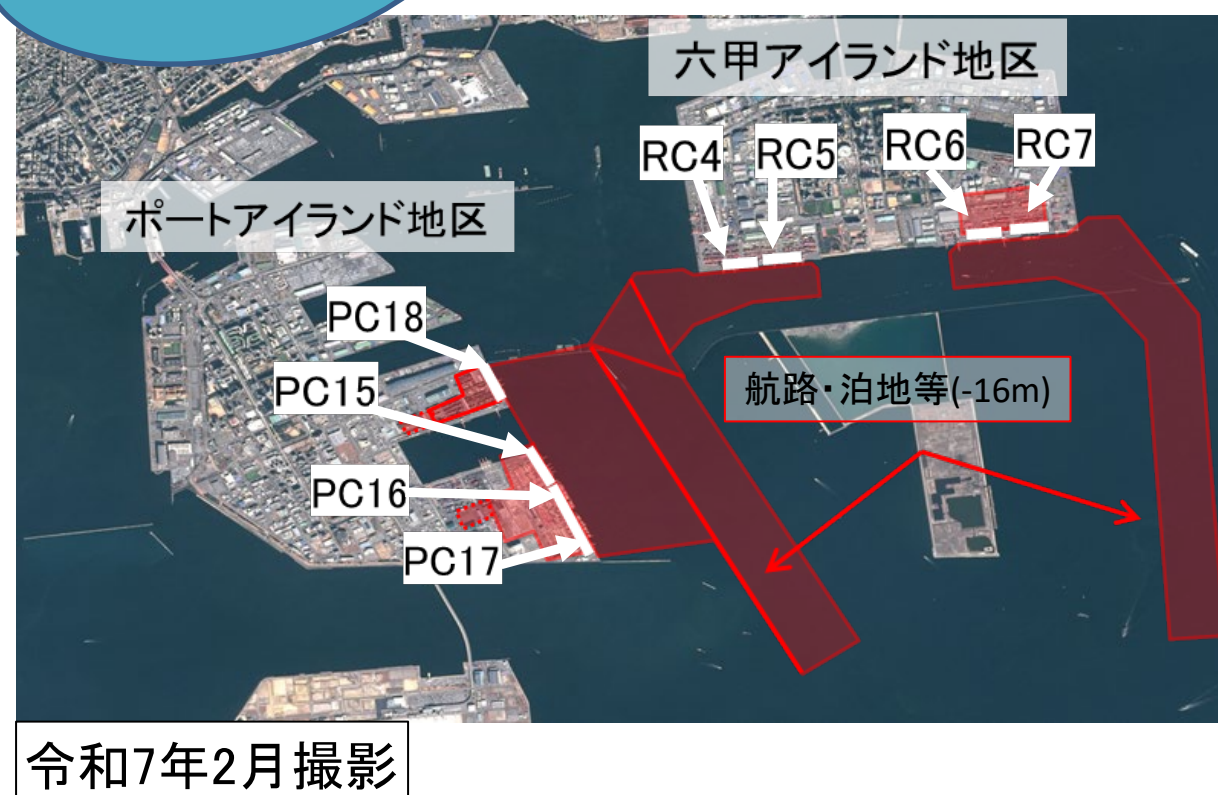


阪神地区における物流施設面積の推移



※臨海部: 住之江区、大正区、港区、此花区、西淀川区、淀川区、東淀川区

神戸港



令和7年2月撮影

大阪港



令和6年1月撮影
出典: © Airbus DS 2024
大阪港湾・空港整備事務所作成資料より引用

- 水深を増深
- 耐震強化岸壁及び荷捌き地の整備
- ガントリークレーンの設置